

穂 学

令和元年度

広州日本人学校 学校便り

[No. 21]

令和2年3月13日(金)

発行責任者 校長 喜屋武浩司

「旅立ちの日。新しい出会いを楽しみに！」

広州日本人学校の皆さん、こんにちは。元気に毎日を過ごしていますか。

1月25日から春節の休みに入り、本来なら2月3日(月)から3学期の後半がスタートする予定でした。しかし、中国国内の新型コロナウイルス感染症の拡大の心配から皆さんの健康を守るために、学校を休校せざるを得ませんでした。

2回にわたる休校延長により、残念ながら今年度は最後まで授業を再開することが出来ませんでした。特に、小学部6年生53名と中学部3年生16名にとって、楽しみにしていた卒業式が行えなかったことは、本当に残念で申し訳なく思います。小学部卒業生の中には、日本に帰国をして近くの中学校に進学する生徒いますが、たくさんの友だちをつくり、新しいことにチャレンジしたりするなど、充実した中学校生活を送ってほしいと思います。また、中学部を卒業する皆さんは、自分の選んだ高校での新しい学校生活が始まります。皆さんは、自分の夢実現の第一歩を踏み出します。大地をしっかりと踏みしめ、力強く自分の道を歩んでください。

さて、4月始業式及び入学式も延期せざるを得ない状況ですが、皆さんにまた会える日を心待ちにしています。4月は新しい旅立ちの日です。新しい出会いを楽しみに、毎日、元気に頑張ってください。

最後に、卒業生へのメッセージにも載せました校長先生の大好きな詩を添えて、皆さんに元気を贈る言葉とします。

「ひとつのこと」

斎藤喜博 作

今 おわる ひとつのこと 今 越える ひとつの山
風わたる草原 ひびきあう心の歌 桑の海 ひかる雲
人はつづき 道はつづく 遠い道 はるかな道
あす登る山を見定め 今 おわる ひとつのこと



「黄花風鈴木」
沖縄名「イペー」



3月8日(日)に帰国した先生方です。
「広州日本人学校、頑張れ！」



「山茶花」
日本名「サザンカ」